

2026年度春季大会報告

チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしやい」報告書

チャレンジ支援委員：内田、香月、佐々木、末松、高橋、道法、平田

2026年5月23日(土) 12:30-13:30 オンライン開催

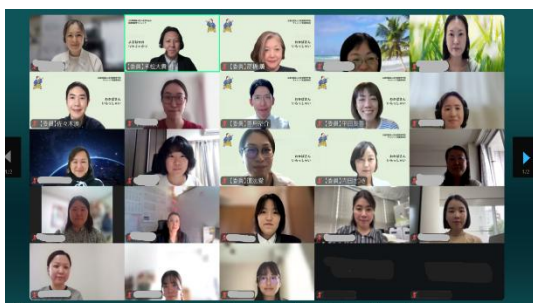
「わかばさんいらっしやい」が大会1日目の12:30-13:30にオンラインで開催されました。初めて大会に参加する方などを「わかばさん」と称し、大会参加の不安を取り除き、大会を楽しむコツを押し、わかばさん同士のネットワークを築く機会の提供を目的に行いました。

4月中旬からYouTubeで「わかばさん」向けのオリエンテーション動画を公開し、大会の概要、視聴する発表の選び方、予稿集の活用、質問の方法などについて、「わかばさん」に紹介しました。

大会当日は、日本語教育に関わり始めたばかりの方や、大会参加が初めての方、研究を始めたばかりの方など、21名の「わかばさん」が参加してくださいました。まず、事前動画の内容を簡潔に復習した後に、質疑応答の時間を設けました。

その後、「わかばさん交流会」を実施しました。今大会は、参加申し込み時に交流会で話してみたいテーマについてアンケートを行い、それに基づいてブレイクアウトルームを作成し交流するという形式で実施しました。大学院生や民間の教育機関にお勤めの方など、多様な背景をお持ちの方が集まり、対等な関係で意見交換や情報共有を行いました。20分×2回に分けて交流の時間を設けましたが、時間いっぱいまで様々な交流が行われていました。

「わかばさん交流会」についての事後アンケートでは90%以上の方から「有意義に交流できた」「まあまあ交流できた」とご回答いただきました。自由記述では、「疑問について質問ができ、十分に回答を頂けた」のように、個人的な迷いや疑問点について話せたというご意見をいただきました。また、「交流を持てる機会が今までなかったから」「質問にも答えていただけ、他の参加者との交流もできて、モチベーションが上がりました」のように、他の参加者と交流ができてよかったというご意見もいただきました。一方で、Zoomのブレイクアウトルームの設定や開催時間などについて、具体的な改善案も含めてご意見をいただきました。いただいたご意見を基に、次回以降より良い運営ができるようにしてまいります。



今回は、ブレイクアウトルームごとにテーマを決めて参加者の方に自由に入っていただくという形式で初めて実施いたしました。参加者の皆さまにはご不便をおかけした点もあるかと思いますが、ご参加いただきありがとうございました。2026年度は秋季大会もオンラインで開催予定であり、「わかばさんいらっしやい」もオンラインで開催予定です。また多くの皆さまにお会いできることを楽しみにしております。